

令和8年
5月下旬から

気象の警報などが

大きく
変わります



詳しくはこちら
(気象庁 HP)

防災気象情報
いつ逃げる？
レベルで
判断！
避難の判断がよりしやすし

警戒レベル	市町村 避難情報等	気象台				住民が とるべき行動
		河川氾濫 1級河川などの大きな河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	
5	緊急安全確保	5相当 レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>						
4	避難指示	4相当 レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	3相当 レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する 人は早めに避難、避難の準備など
2	(気象台が発表する情報 →)	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
1	(気象台が発表する情報 →)	早期注意情報				災害への心構えを高める



警報・注意報等は、テレビ、ラジオ、インターネット、ゆあさポート、防災行政無線などを通じて伝えられます。

あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。



警報・注意報の情報名に「レベル」がつきます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルがつきます避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。

変更例

(旧)「大雨警報」→(新)「レベル3大雨警報」
警戒レベル3(高齢者等避難)に相当



「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

変更例

(旧)「土砂災害警戒情報」
→(新)「レベル4土砂災害危険警報」



河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。今後は河川の区分に応じ、伝え方が変わります。

変更例

(旧)「洪水警報」
→【洪水予報河川※】(新)「レベル3氾濫警報」
→【洪水予報河川以外の河川】(新)「レベル3大雨警報」

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川

避難のタイミングは
レベルで判断

災害が起きる前に何をすべきか、レベルごとにチェック！



時間推移のイメージ
数日～1日前
半日～数時間前
数時間～3時間前
2時間～0時間前
災害発生

レベル1
早期注意情報

・災害への心構えを一段高める。

レベル2
注意報

・ハザードマップなどで災害リスクを再確認する。
・町から発表される避難情報の把握手段を再確認する。

レベル3
警報

・避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難する。
・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難。

レベル4
危険警報

・危険な場所から全員避難する。
※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了。

レベル5
特別警報

・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。
・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。

問 総務課地域防災係 ⑩番窓口 TEL 64-1108